

令和5年7月吉日

関係各位

東京都中学校英語教育研究会
会長 平岡 栄一
(葛飾区立常盤中学校長)

令和5年度・第76回英語学芸大会の運営方法について（事務連絡）

このことにつきまして本年度は、下記のとおり実施いたします。
集合開催およびオンライン開催の2つの方式で並行して実施します。2つは別の大会です。
昨年度の運営を踏まえ、まだ調整中の事項も含まれますが、ご理解、ご協力をいただければ幸いです。

記

【1】第76回英語学芸大会（集合開催）

日時 令和5年12月26日（火）全日

会場 たましん RISURU ホール（立川市市民会館）大ホール

参加種目 ① SPEAKING の部 制限時間3分 ② PLAY の部 制限時間20分

（注意事項）

*スピーキングでの出場は次のAかBによる。

A：日本の小・中学校で英語を学習している生徒。

B：最近5年以内に、海外〈英語圏の国（アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド等）〉で1年以上生活をしたことのある生徒。

Bでの申し込みはコンテストの対象とせず、発表の場のみになる。

*プレイに帰国生徒や外国人生徒の参加も認める。

参加者について

- ・各区市町村から代表1名（スピーチ）または1校（プレイの場合）
- ・区市町村での大会が開催されていない場合は、担当までご相談ください。

参加費の徴収について

- ・会場使用料や設備使用料等に充当するため、参加費の徴収（5,000円の予定）にご協力をお願いいたします。
- ・集合開催での実施費用は、合計で350,000円～400,000円と概算しています。
- ・スピーチおよびプレイとも一律の参加費を予定しています。

会場について

会場は、昨年度より外部の施設を利用しています。このことの利点は以下のとおりです。

- ・各区市町村代表校の優れた発表のためにより力を発揮しやすい施設
- ・感染対策の観点からも換気や空調設備が十分に整っている
- ・駅前等でアクセスが良いこと、車での来訪にも便利であること
- ・スピーチにも英語劇にも適した音響、専門スタッフ常駐

また、諸事情により当日の会場使用が不可となった場合は、開催はせず、ビデオ審査といたします。

・ビデオは開催日の10日前までにあらかじめ提出していただきます。

・ビデオ審査となった場合、ビデオの提出をしていない出場者は棄権となります。

今後の会場（令和5年以降）でお貸しいただけるのであればお知らせください。

・区部 → 市部 → 区部 → 市部 などのローテーションができると便利になります。

※実施要項は、9月中旬までに中英研ホームページ等でお知らせします。

【2】第76回英語学芸大会（オンライン開催・ビデオ審査方式）について

※ 本大会は表彰状の送付も含めて、全てデジタルで行います。

※ 【1】の集合開催とは別の大会です。

1 開催方式

ビデオ審査方式

第73、74、75回で実施した方式で、Google Formsにより動画やPDFを提出する方式です。

2 開催期間（応募期間）の予定

令和5年9月20日（水）～令和5年10月20日（金）

※昨年度よりも約1カ月早くなっています。

3 参加種目

(1) Speaking の部 制限時間2分

- ・優秀者8名を入賞とし、そのうちの1位、2位、3位を表彰する。
- ・英語、内容、態度を各10点満点、最高30点で審査します。
- ・得点の公表は行いません。
- ・集合開催のSpeakingの部の制限時間とは異なります。

(2) Play の部 制限時間5分

- ・優秀8団体を入賞とし、そのうちの1位、2位、3位を表彰する。
- ・通常のPlayの一部分のみを演ずる等により制限時間内に収める。
- ・英語、内容、態度を各10点満点、最高30点で審査します。
- ・得点の公表は行いません。
- ・集合開催のPlayの部の制限時間とは異なります。

(3) Performance の部 制限時間2分

- ・順位付けは行いません。但し、準備や参加の努力に対しての表彰を行います。
- ・Speakingの部、Playの部でないものは全てPerformanceの部として扱います。
- ・学習意欲を高めるもの、英語やコミュニケーション能力を高めるもの
- ・人数の規定はありません。1名でも複数名でも可。感染予防に確実な配慮をされてください。
- ・Performanceの部では自由な発想、着想で、英語でお楽しみください。

4 参加申込等

今年度は、Speakingの部とPlayの部のエントリーとPerformanceの部のエントリーを別にします。

- ・Speakingの部とPlayの部については、各校の代表、合計3エントリーまで参加できます。（但し、Playは1つのみといたします）
- ・Performanceの部は、各校の代表、合計10程度のエントリーまで参加できます。

参加申込例) Speakingを2、Playを1 + Performanceを10 → OK

Speakingを3 + Performanceを8 → OK

Playを2、Speakingを1 + Performanceを5 → NG

- ・各地区での代表ではなく、各校の代表です。
- ・12月26日の集合開催とは別の大会です。2つの大会の両方に参加することも可能です。

5 参加費等

- ・（オンライン開催・ビデオ審査方式では）参加費の徴収はありません。

6 事前の準備について

(1) 申込にあたっては、Google Formsを使用いたします。

- ・学校番号、学校名、校長名、担当教諭名、作品名、発表者氏名、校長の承認等について入力していただきます。
- ・動画をMPEG4形式（1動画あたり最大500MB程度まで）によりアップロードしていただきます。
- ・スクリプトをPDF形式によりアップロードしていただきます。

(2) 「東京都中学校英語教育研究会・英語学芸大会」の専用HPも9月中旬頃までに整備します。今後の情報は同HP等に掲載します。

(3) 正式な実施要項も9月中旬を目途に公表いたします。

(4) 結果発表や表彰状のフォーマット等は同HP上に掲載します。各校ではダウンロードしてのご使

- 用をお願いいたします。
- (5) 優秀作品については学校名、作品、発表者氏名、指導者名等を同 HP に掲載いたします。
また、東京都中学校英語教育研究会報等に掲載いたします。
なお、HP に作品を掲載する場合には、関係者の許諾を得られたものに限定します。
- (6) なお、優秀作品等について、東京都中学校英語教育の発展のために生かしていただきたく、東京都中学校英語教育研究会での教員向け研修（集合開催またはオンライン開催）においてご披露いただき、指導者による解説等をいただく機会がもてたらと考えております。
この件につきましては、応募の時点で簡単な質問をさせていただくとともに、審査発表後に別途ご相談をさせていただきます。多くのご協力がいただければ幸いです

7 その他

様々な要因から予定どおりの進行とならない場合も想定されます。

しかし、可能な範囲で生徒活躍の場面を設定し、英語運用能力の向上、課題に挑戦する姿勢や、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する機会といたし、皆様のご協力とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

【担当】 東京都中学校英語教育研究会
副会長・事業部担当・デジタル推進担当
文京区立茗台中学校長 西貝 裕武
電話 03-3811-2969
ファクシミリ 03-5689-4559
e-mail: Hiromu_Nishigai@city.bunkyo.lg.jp